

熊谷空襲を語り継ぎ平和について考える講演会



東京大空襲の戦後史

～民間人戦争被害者を切り捨てるこの国の「戦後」とは何か～

講師 栗原俊雄さん(毎日新聞記者)

プロフィール

1967年生まれ、東京都出身、早稲田大学政治経済学部政治学科卒、同大学院政治学研究課程修了(日本政治史)、1996年毎日新聞社入社、横浜支局などを経て現在、編集編成局学芸部記者、2009年第3回疋田佳一郎賞受賞。父栗原光雄さんは寄居町出身、熊高OB。

主な著書

『戦後補償裁判 民間人たちの終わらない「戦争」』(NHK出版新書)
『シベリア抑留 最後の帰還者 家族をつないだ52通のハガキ』(角川新書)
『東京大空襲の戦後史』(岩波新書)
『硫黄島に眠る戦没者一見捨てられた兵士たちの戦後史』(岩波書店)

◆日にち 2024年 **3月31日**(日)

◆時間 開場 13:30 開始 14:00 終了 16:00

◆会場 熊谷市市民活動支援センター 会議室
熊谷市曙町5-67(☎048-522-2141)

◆定員 35名(ご予約お願いします)

◆資料代 300円(障がい者、学生無料)

◆主催 熊谷空襲を忘れない市民の会
予約先 東(ひがし) ☎ 070-5551-7734

◆後援 熊谷市教育委員会

熊谷空襲を忘れない市民の会の紹



当会は主に、熊谷空襲を原点に戦争のない世界、戦争を起こさない日本を目指し、熊谷空襲の被災の経験を語り継ぐ活動をしています。「最後の空襲 熊谷」は、空襲から75周年を記念して、2020年11月に出版しました。(社会評論社)

